

「第3回神社・寺カフェ」開催（浜松市）

浜松市内の神社と寺を開放して、神職や僧侶と交流してもらおうという催しが開催された。期間は2月25日から3月31日の一か月余。

「第3回神社・寺カフェ」（神も仏も訪ね求めて：主催NPO法人 楽舎、浜松市の文化事業「みんなのはままつ創造プロジェクト」）

参加した寺社は、26か所（神社が2、神仏習合が1、真言宗3、浄土宗1、臨済宗6、日蓮宗4、曹洞宗9）。宗教・宗派を超えて行われた。それぞれ寺社で独自の企画を行い、延べ600人が訪ねた。

当日、住職や神職が来訪者をおもてなして、じっくりと語り合い交流した。

それぞれの企画内容は、個性的で盛りだくさん。神社では、祝詞や神道の作法を教えてくれる。寺院では、仏教の実践も。団扇太鼓の響きに合わせてお題目を唱える、木魚のリズムで念仏を称える、護摩行、坐禅会、写経。さらには、茶礼、ヨガ、展示会、歴史と地域の語り合いなど。

本来、寺社は地域の拠り所であり、文化センターであり、学びの場であった。豊かな自然が残されている、広大な敷地、なにより長き伝統を継承した歴史がある、生き方教えがある。

けれども、普段の暮らしでは、寺社はなかなか訪ねづらい。敷居が高いともいえる。しかし、それではもったいない。本来の寺社の魅力を発信して、地域の心の拠り所となってもらおうというのが企画趣旨であった。

浜松市北部地区特派員 池谷 啓



[寺カフェ03](#)



[寺カフェ02](#)



[寺カフェ01](#)